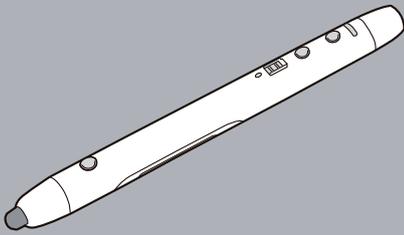


取扱説明書 電子ペン編 インタラクティブプラズマディスプレイ (業務用)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。

はじめに

表記について

Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。
DirectX® の正式名称は、Microsoft® DirectX® application programming interface です。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectX、Windows Media および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- Intel および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe、Adobe Reader および Flash は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのヘルプについて

インタラクティブプラズマディスプレイに付属のエリート パナボード ソフトウェアとエリート パナボードブックの操作のしかたは、ソフトウェアに付属のヘルプに記載しています。
ヘルプの詳しい閲覧方法については、「ソフトウェアのヘルプを見る」をご参照ください。(☞ 17 ページ)

コンピューターのシステム環境

コンピューター	DVD-ROM ドライブが使用可能な IBM® PC/AT 互換機
CPU	Intel® Pentium® 4 以上のプロセッサ
オペレーティングシステム	Windows(R) XP SP3 以降 / Windows Vista(R) SP2 以降 / Windows 7 (Starter と Home Basic は除く) ※ Windows XP 64 bit 版では動作しません。
インターフェース	USB 2.0

お知らせ

- 詳細システム動作環境については付属の DVD-ROM のインストールメニューにある「はじめにお読みください」をご参照ください。(☞ 14 ページ)
- システム環境を満たしていても、他のソフトウェアやウイルスチェックなどが動作している場合は、インタラクティブプラズマディスプレイの反応が悪くなったり、電子ペンが誤動作することがあります。

もくじ

安全上のご注意.....	4
ご使用上のお願い.....	7
付属品の確認.....	9
各部のなまえとはたらき	10
準備	12
使う	15
ソフトウェアについて	17
必要なとき.....	18
仕様.....	20

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

電池について

■ 電池の ⊕ と ⊖ は正しく入れる



機器の表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になります。

■ 電池をショート、加熱、分解したり、火の中へ入れない



液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ 電池に直接ハンダ付けをしない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 被覆のはがれた電池は使わない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 指定外の電池を使用しない



電池の発熱によるやけどや、液もれにより周囲を汚損する原因になります。

■ 電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する



他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 使えなくなった電池は、すぐ取り出す



液もれの原因になります。

- 電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

警告

電子ペンについて

■ 分解や修理、改造をしない



火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 医療機器に近づけない

(手術室、集中治療室、CCU*¹)
などには持ち込まない



本製品からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

*¹ CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ ペン先や電子ペンアダプター、電池は乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す



電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

注意

■ 長期間機器を使用しないときは、機器から電池を取り出す



液もれの原因になることがあります。

ご使用上のお願い

- 電子ペンのペン先を強く押さえたりしないでください。
- 電子ペン表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。
- 電子ペンを落とさないでください。破損したり、動作不良の原因になります。
- 異物が付いたり、変形したり、傷ついたペン先などは使用しないでください。
画面を汚したり傷つけたりする場合があります。
- ペン先が押された状態で電子ペンを保管しないでください。
一般的な筆立てなどに保管した場合、ペン先が押された状態になり、内部のスプリングのはたらきが弱くなったり、ペン先が傷つく場合があります。
- 電子ペンのペン先は突起しているので、ぶつけたり、ひっかけたりしないよう注意してください。また、この部分が隠れると、電子ペンが正しく動作しなくなります。
- 電子ペンはインタラクティブプラズマディスプレイの操作以外に使用しないでください。

無線方式電子ペンご使用上のお願い

電子ペンは電子ペンアダプターとの通信に 2.4 GHz 帯の無線を使用しています。

電波を使う機器から離す

電波の干渉による、悪影響を予防するため、次の機器からは電子ペンアダプター・電子ペンとも約 3 m 以上離してください。

- 電子レンジ
- 無線 LAN 機器（ルーター・AV 機器・防犯機器など）
- コードレス電話
- ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオなど）
その他、下記の機器も影響が出る場合があります。
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
 - アマチュア無線局
 - 工場や倉庫などの物流管理システム
 - 鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - マイクロ波治療器
 - その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通情報システム）など

電波について

電波に関するご注意

- 本製品は、2.4 ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。
移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS 方式」、与干渉距離は 10 m です。本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。
- 本製品の使用周波数に関わるご注意
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。



-
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品からの移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記のお問い合わせ先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、本製品が移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。

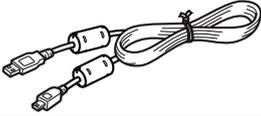
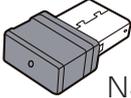
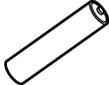
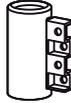
パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

電話 (06)6905-5574

付属品の確認

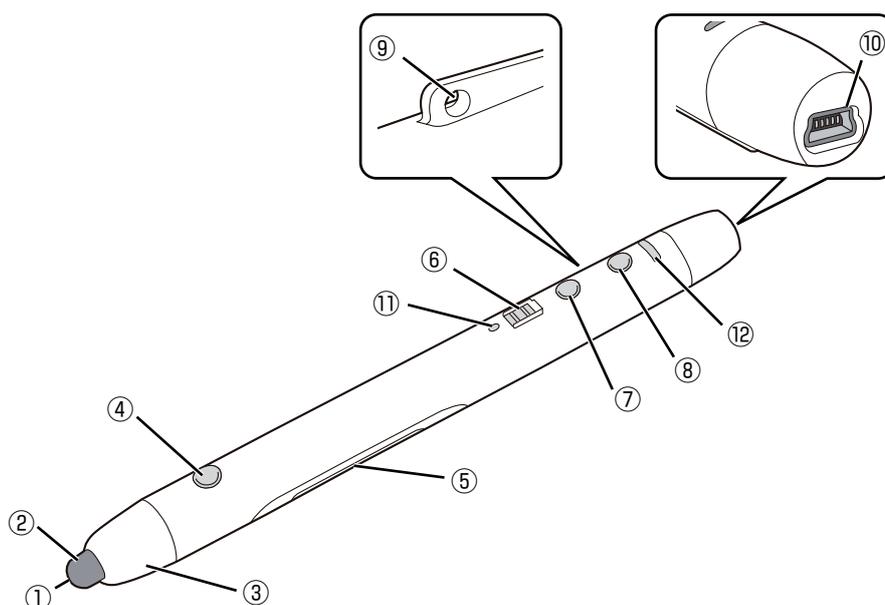
以下の付属品がすべてそろっているか、ご確認ください。
万一不足の品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

付属品一覧（電子ペンセット）

充電ケーブル（2 m）	2	電子ペンアダプター	1	単4形ニッケル水素充電式電池*	2
		 N5EDZ00000006			
電子ペン	2	ペン先（予備）	2	ペンホルダー	2
 N2FZ000000006		 TKKL5543			

- ペン先の予備は大切に保管してください。
- 別売品の購入は、本機をお買い上げの販売店までご連絡ください。
- * 同梱の充電式電池は本電子ペン専用のものです。交換する際は市販の単4形ニッケル水素充電式電池（HHR-4MWS）と交換してください。

各部のなまえとはたらき



① 受光穴

② ペン先

電子ペンモードでは画面にタッチすると描画します。
マウスモードでは「マウスの左ボタン」と同じ働きをします。
マウスモードで長押しすると「マウスの右クリック」と同じ働きをします。

③ ペン先カバー

④ メニューボタン

ボタンを押しながら画面にタッチすると描画メニューを表示させることができます。

⑤ 電池カバー

⑥ 電源スイッチ

電子ペンの電源を入 / 切します。
充電端子側にスライドすると「入」、ペン先側にスライドすると「切」になります。

⑦ マウス / ペン切替ボタン

電子ペンの動作（マウスモード、電子ペンモード）を切り替えます。
マウスモード：機能選択メニューやエリート パナボード ブックを操作します。
電子ペンモード：描画したり、描画したデータを消したりすることができます。

⑧ 機能ボタン

電子ペンの機能（色、イレーサー）を選択します。

⑨ ストラップホール

ストラップを取り付けることができます。

⑩ 充電端子

充電時に付属の充電ケーブルを接続します。

⑪ 電源 LED

電子ペンの電源が「入」のときに緑色に点灯します。

電子ペンの電池が消耗してくると緑色に点滅します。

充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

充電時に充電式電池が入っていない場合や、対応外の充電式電池の場合は赤色に点滅します。

電源 LED	動作状態
非点灯	電源「切」
緑色点灯	電源「入」
緑色点滅	電池残量が少ない
赤色点灯	充電中
赤色点滅	充電エラー

⑫ 機能 LED

選択されている電子ペンの機能を表示します。

非点灯/赤色/青色/黄色	選択した色のマーカーで描画します。 <ul style="list-style-type: none">非点灯の場合は黒色のマーカーで描画します。黄色の場合はハイライトマーカーで描画します。マーカー/ハイライトマーカーの太さなどは描画メニューで設定することができます。
白色	描画したデータを消します。 <ul style="list-style-type: none">イレーサーの太さなどは描画メニューで設定することができます。
白色点滅	マウスモード
赤色と緑色が交互に点滅	電子ペン登録モード (15 ページ) 電子ペン未登録

お願い

- 電子ペンを使用するときは、電源 LED が緑色に点灯していることを確認してください。
- 電子ペンはペン先を画面に当てて使用してください。
- ワイヤレスモジュール (品番: ET-WM200) を接続した状態で電子ペンを使用しますと、電波干渉等で電子ペンが正常に動作しない場合があります。その際は、「無線 LAN」を「オフ」にして電子ペンをご使用ください。

(取扱説明書ネットワーク操作編)

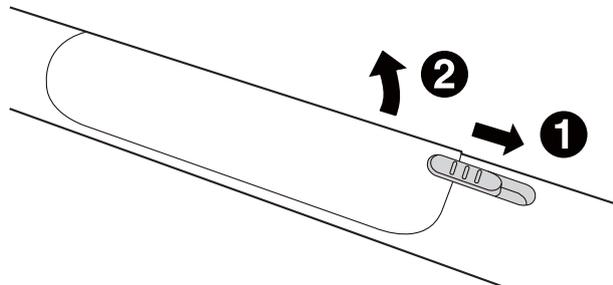
お知らせ

- 電子ペンは最大 3 本まで同時に使用できます。
- 電子ペンが使用されていない状態が一定時間 (約 5 秒) 続いた場合、スリープ状態になり、電池の消耗を抑えます。

準備

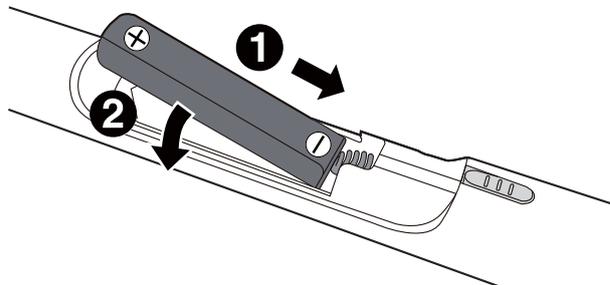
電子ペンに電池を入れる（交換する）

1. 電池カバーロックをはずし (①)、
電池カバーを開ける (②)。



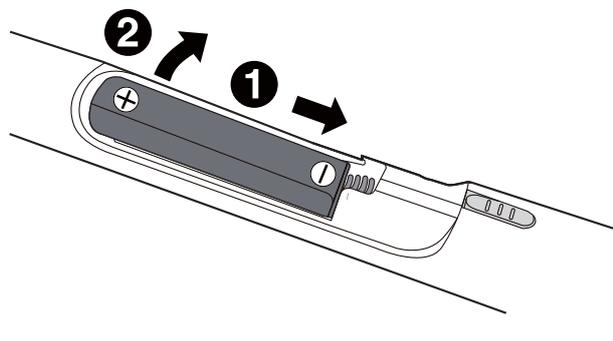
- つける時は手順を逆にしてください。

2. 電池を入れる（交換する）、
このあとカバーをつけてロックする。



- 必ず単4形ニッケル水素充電式電池または、単4形アルカリ乾電池を使用し、⊕ ⊖ を間違えないで入れてください。
- 使えなくなった乾電池は、速やかに取り出し、テープなどで端子部を絶縁し、地域で定められた方法に従って処理してください。

- 電池を取り出す際は、電池の ⊕ 側を ⊖ 側に押しながら (①)、取り出してください (②)。



お願い

- 充電式電池を交換する際は市販の単4形ニッケル水素充電式電池 (HHR-4MWS) と交換してください。

お知らせ

- お買い上げ時、電池を入れた後、電子ペンが電子ペンアダプターに登録されていない状態で電源を入れると、機能 LED が緑色と赤色の交互に点滅します。一度電源を切り、充電等の電子ペンの準備を行い、15 ページの順序に従って設定、接続、電子ペンの登録を行ってください。

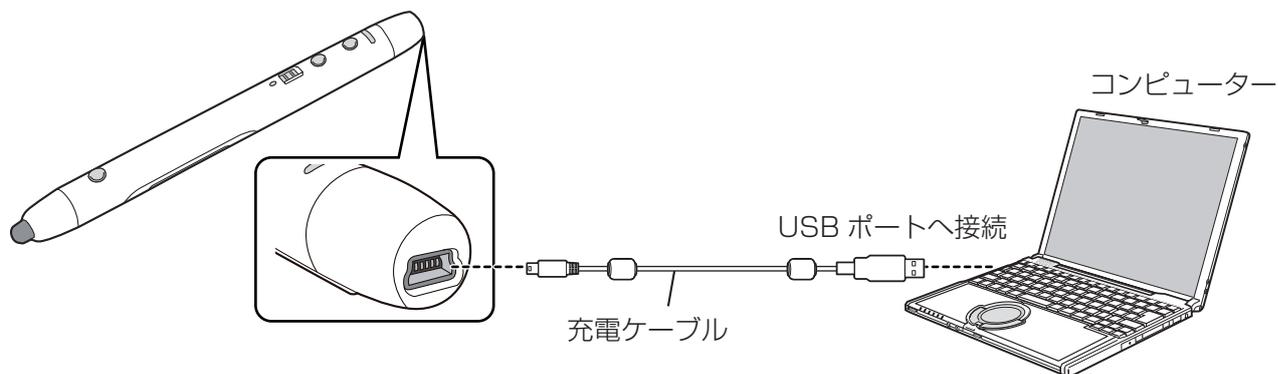
充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

- 単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は充電不要です。

付属の充電ケーブルで電子ペンの充電端子をコンピューターの USB 端子に接続する。

- 電源 LED が赤色に点灯し、充電が始まります。(充電が完了すると、電源 LED が消灯します。)



■ 充電時間の目安と持続時間

充電時間	使用時間
約 4 時間※ ¹	約 4 時間※ ²

※ 1 空の状態から充電が完了するのにかかる時間

※ 2 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

お願い

- 充電式電池を使う場合は、必ず付属または市販の単 4 形ニッケル水素充電式電池 (HHR-4MWS) をご使用ください。
- インタラクティブプラズマディスプレイのワイヤレスモジュール接続端子に充電ケーブルを接続しないでください。
- アルカリ乾電池の充電はできません。
- 電子ペンを保管するときは、満充電を避け、電源を「切」にしてください。

お知らせ

- 充電中は電子ペンを使用できません。

ソフトウェアのインストール

以下の手順に従ってコンピューターにエリート パナボード ドライバー / ソフトウェア / ブックをインストールしてください。

お願い

- ソフトウェアのインストールが終了するまでは、電子ペンアダプターを接続しないでください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windowsを起動する

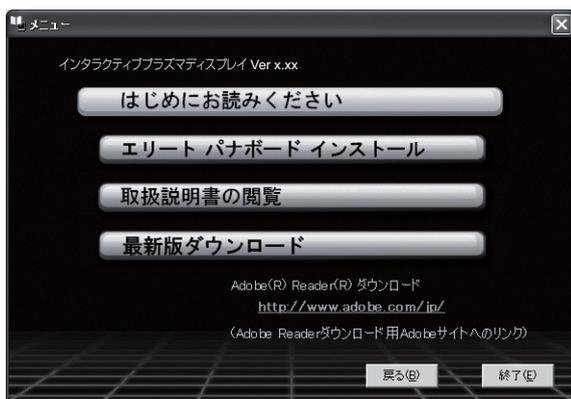
- 管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。

2 付属のDVD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする

- セットアップ画面が表示されます。
- セットアップ画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ] から DVD-ROM を選び、[Menu.exe] をダブルクリックしてください。
- Windows Vista / Windows 7 で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。

3 「エリート パナボード」画面が表示されたら、ご使用になる機種をクリックする

4 「メニュー」画面が表示されたら、[はじめにお読みください] をクリックする



- コンピューターのシステム環境が表示されますので、問題がないかを確認してください。

5 「メニュー」画面の [エリート パナボード インストール] をクリックする

6 「使用許諾契約」の内容に同意される場合、[はい] をクリックする

- Windows Vista でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[続行] を選択してインストールを続けてください。
- Windows 7 でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[はい] を選択してインストールを続けてください。

7 「機能の選択」画面が表示されたら、必要な機能を選択、または不要な機能を解除して、[次へ] をクリックする

- チェックボックスをクリックすると、機能の選択 / 解除ができます。
- チェックボックスがグレーの項目は必須項目です。選択は解除できません。
- すでにインストールされている機能を解除した場合、その機能は削除 (アンインストール) されます。

8 ウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを続ける

9 インストールが終了したら、[完了] をクリックする

- 再起動を促す画面が表示される場合は、再起動してください。
- プログラムメニューの [Panasonic] に [エリート パナボード] グループが登録されます。
- [エリート パナボード] グループには以下のものがインストールされます。
(手順7の「機能の選択」画面で解除した項目は表示されません。)
 - エリート パナボード ソフトウェア
 - エリート パナボード ブック
 - ペアリングツール
 - ソフトウェア ヘルプ
 - 最新版ダウンロード

お知らせ

- 取扱説明書を見るには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader®がインストールされている必要があります。お使いのコンピューターがインターネットに接続されている場合は Adobe のウェブサイトから Adobe Readerをダウンロードすることができます。

使う

電子ペンの準備、ソフトウェアのインストールが完了しましたら、以下の順序にしたがって設定、接続等を行ってください。

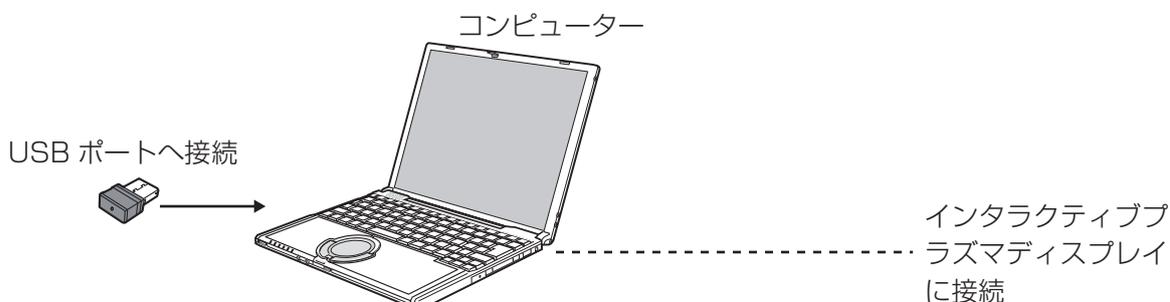
1 インタラクティブプラズマディスプレイにコンピューターを接続する

コンピューターとインタラクティブプラズマディスプレイの接続については取扱説明書ディスプレイ編を参照ください。

- 電子ペンを使用する前に下記のインタラクティブプラズマディスプレイの設定を行ってください。設定方法については取扱説明書ディスプレイ編を参照ください。
 - コンピューターの画面がインタラクティブプラズマディスプレイの画面に正しく表示されるように、画面位置、画面サイズを適切に設定してください。
 - インタラクティブプラズマディスプレイ「初期設定」メニュー内の「タッチペン設定」を設定ください。

2 電子ペンアダプターを接続する

付属の電子ペンアダプターをコンピューターのUSBポートに接続します。



- 電子ペンアダプターを接続すると、エリート パナボード ソフトウェアが自動で起動されます。
- エリートパナボードソフトウェアが自動で起動されない場合は、電子ペンアダプターを一旦取り外し、再度接続してください。

お願い

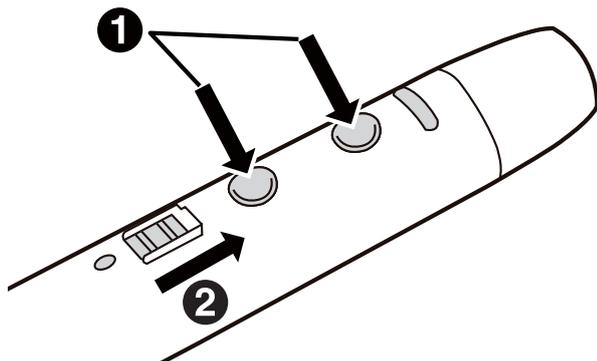
- コンピューターにエリート パナボード ドライバー/ソフトウェア/ブックをインストールしていない場合は、コンピューターに電子ペンアダプターを接続しないでください。「ソフトウェアのインストール」の手順に従ってソフトウェアのインストールを実施したあと、電子ペンアダプターを接続してください。(P.14 ページ)

3 電子ペンを登録する

電子ペンを使用するには、電子ペンを電子ペンアダプターに登録する必要があります。

1 機能ボタンとマウス / ペン切替ボタンを同時に押しながら (1)、電源スイッチを「入」にする (2)

- 機能 LED が緑色と赤色の交互に点滅します。電源 LED は消灯のままです。



ソフトウェアについて

ソフトウェアのヘルプを見る

コンピューターにインストールしたソフトウェアのヘルプを見るには、以下の手順に従ってください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する
- 2 スタートボタンからソフトウェア ヘルプを開く
([スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [エリート パナボード] → [インタラクティブプラズマディスプレイ] → [ソフトウェア ヘルプ])
 - 全体的なソフトウェアのヘルプが表示されます。

お知らせ

- エリート パナボード ソフトウェアおよび電子ペンのヘルプは、通知領域の  アイコンをクリックし、ポップアップメニューの [ヘルプ] からご参照ください。
- エリート パナボード ブックのヘルプは、エリート パナボード ブックの [ヘルプ] メニューの [ヘルプ ...] からご参照ください。
- ヘルプを参照する際は、Windows 版 Internet Explorer® 6.0 以降のご使用を推奨します。

ソフトウェアを削除するには

インストールしたエリート パナボード ドライバー/ソフトウェア / ブックを削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する
 - 管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。
- 2 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] を選択する
 - Windows Vista / Windows 7 の場合は、[プログラムのアンインストール] を選択します。
- 3 Panasonic エリート パナボード を選択し、削除する
- 4 画面の指示に従って操作する
- 5 操作が終了したら、コンピューターを再起動する

最新版のソフトウェアをダウンロードする

最新版のソフトウェアは、以下の手順でインターネットのウェブサイトからダウンロードすることができます。

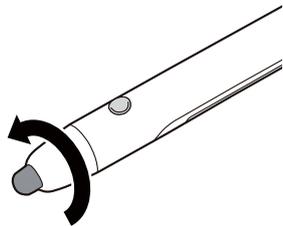
- 1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動する
- 2 Windows の [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] → [Panasonic] → [エリート パナボード] → [インタラクティブプラズマディスプレイ] → [最新版ダウンロード] をクリックする

必要なとき

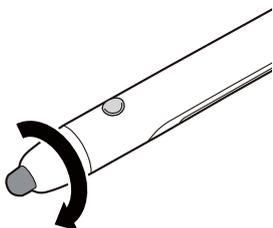
電子ペンのペン先交換

電子ペンのペン先が消耗してくると、ペン先のすべりが悪くなってきます。そのまま使い続けると、画面に汚れをつけたり、動作不良の原因となりますので、速やかに新しいペン先と交換してください。

1 ペン先カバーをはずす

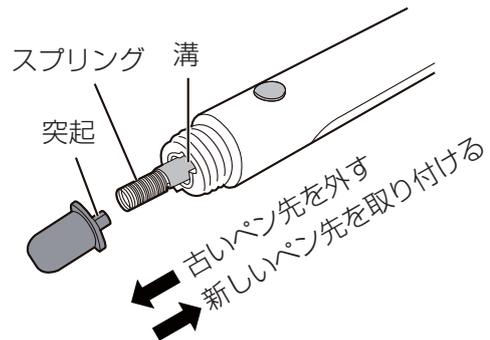


3 ペン先カバーをつける



2 古いペン先をはずし、新しいペン先を取り付ける

- ペン先の突起がペン本体の溝に合うように取り付けてください。
- ペン先を交換する際には、スプリングをなくさないように注意してください。



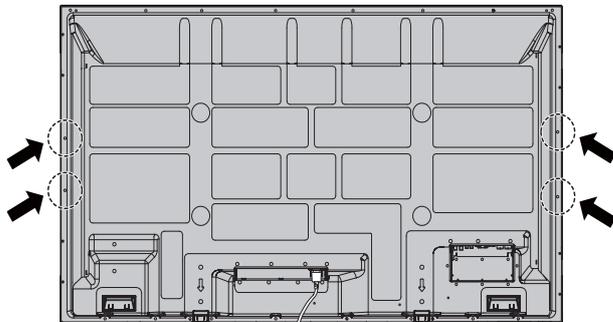
お願い

- ペン先の交換は電子ペンの電源を切ってから行ってください。

ペンホルダーの取り付け

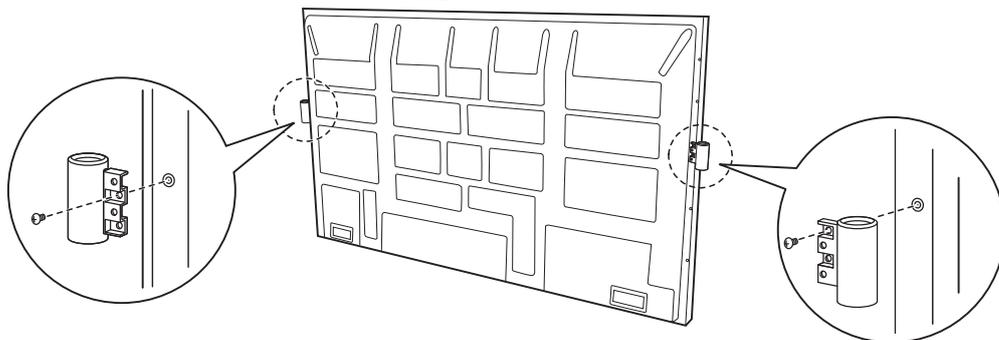
付属のペンホルダーをインタラクティブプラズマディスプレイに取り付けて電子ペンを収納することができます。

1 下記の4か所の中から、ペンホルダーを取り付けたい位置のネジをはずす



2 ネジを取り外した位置にペンホルダーを取り付ける

- 取りはずしたネジでペンホルダーを固定してください



お願い

- ペンホルダーは左右に1箇所ずつ取り付けてください。片側に2箇所上下で取り付けると下側のペンホルダーにはペンを収納することができません。

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と処置	参照ページ
電源 LED が赤色に点滅している	充電時に充電式電池が入っていない、または本電子ペンに対応していない充電式電池を充電している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池をご使用ください。	11、12
電源 LED が緑色に点滅している	単 4 形ニッケル水素充電式電池、またはアルカリ乾電池が消耗している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池を充電してください、またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。	11、12
機能 LED が赤と緑に点滅している	電子ペンが電子ペンアダプターに登録されていない → 電子ペンを電子ペンアダプターに登録してください。	11、15
描画の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピューターが電子ペンのシステム動作環境を満たしているか確認してください。 他のソフトウェアやウイルスチェックが動作している → 他のソフトウェアやウイルスチェックを停止してください。	2 2
電子ペンが機能しない (ボタンが動作しない) (電子ペンで筆記した線が欠ける・色が変わる)	<ul style="list-style-type: none"> 電子ペンアダプターが正しく接続されているか確認してください。 電子ペンが電子ペンアダプターに正しく登録されているか確認してください。 他のソフトウェアやウイルスチェックが動作している → 他のソフトウェアやウイルスチェックを停止してください。 単 4 形ニッケル水素充電式電池、またはアルカリ乾電池が消耗している → 単 4 形ニッケル水素充電式電池を充電してください、またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。 ワイヤレスモジュール（品番：ET-WM200）を接続した状態で電子ペンを使用している。 → ワイヤレスモジュールを接続した状態で電子ペンを使用しますと、電波干渉等で電子ペンが正常に動作しない場合があります。その際は、「無線 LAN」を「オフ」にして電子ペンをご使用ください。 	15 15 2 12 取扱説明書 ネットワーク 操作編

仕様

種類	電子ペン
伝送方式	2.4GHz 無線伝送
使用電源	単4形ニッケル水素充電式電池 × 1 または、単4形アルカリ乾電池 × 1
外形寸法（長さ × 高さ）	198.5mm × 22.1mm
質量	約 40g（付属の充電式電池を含む）
使用時間	約 4 時間（単4形ニッケル水素充電式電池） 約 4 時間（単4形アルカリ乾電池）
充電時間	約 4 時間（単4形ニッケル水素充電式電池）

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

☎ 大阪 (06) 6905 - 5574

© Panasonic Corporation 2012